









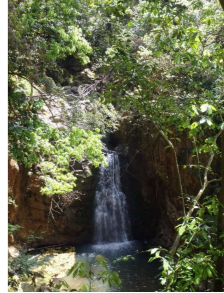


## 令和4年度「こころに残る歴史・文化景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
1	『威風堂々 岸和田城』 大切な人と行った 夜の岸和田城が日中と違って感動しました。相方も岸和田城すごいやんって言ってました。(46歳男性)	
2	『だんじり祭り 宮入りとカンカン場から本通りに①』 南海沿線で小6まで育ち、平成と共に大阪にもどり、近くの祭りを追っかけ撮影するようになりました。初め「だんじり」は、こわくて敬遠してましたが、堺地区でだんじりをやってた上司がわかり、岸和田、泉大津含め、やりまわしを追っかけ出し、当時10年間ほどワイドに望遠に撮りまくりました。「堂々とした宮入り、迫力の商店街ダッシュ」(71歳男性)	
3	『だんじり祭り 宮入りとカンカン場から本通りに②』 南海沿線で小6まで育ち、平成と共に大阪にもどり、近くの祭りを追っかけ撮影するようになりました。初め「だんじり」は、こわくて敬遠してましたが、堺地区でだんじりをやってた上司がわかり、岸和田、泉大津含め、やりまわしを追っかけ出し、当時10年間ほどワイドに望遠に撮りまくりました。「堂々とした宮入り、迫力の商店街ダッシュ」(71歳男性)	
4	『だんじり祭り 宮入りとカンカン場から本通りに③』 南海沿線で小6まで育ち、平成と共に大阪にもどり、近くの祭りを追っかけ撮影するようになりました。初め「だんじり」は、こわくて敬遠してましたが、堺地区でだんじりをやってた上司がわかり、岸和田、泉大津含め、やりまわしを追っかけ出し、当時10年間ほどワイドに望遠に撮りまくりました。「堂々とした宮入り、迫力の商店街ダッシュ」(71歳男性)	
5	『だんじり祭り 宮入りとカンカン場から本通りに④』 南海沿線で小6まで育ち、平成と共に大阪にもどり、近くの祭りを追っかけ撮影するようになりました。初め「だんじり」は、こわくて敬遠してましたが、堺地区でだんじりをやってた上司がわかり、岸和田、泉大津含め、やりまわしを追っかけ出し、当時10年間ほどワイドに望遠に撮りまくりました。「堂々とした宮入り、迫力の商店街ダッシュ」(71歳男性)	
6	『久米田寺 行基参り』 寺に13台のだんじりが入る 日本でも珍しい祭り (57歳男性)	

## 令和4年度「こころに残る歴史・文化景観」応募作品一覧

番号	エピソード	写真
7	『岸和田市の和泉葛城山の山頂にある八大竜王社参道。』 何時もは車で行き 神社の裏からお詣りですが、神社正面の一の鳥居を見たいと思って石段を降り始めたら先が見えない程の参道でした。岸和田にこんなに長い石段の神社があるんですね。(57歳男性)	
8	『三好実休の碑』 永禄4年(1562)久米田寺付近で実休を総大将とする三好軍と畠山軍の合戦となり、実休は流れ矢にあたって戦死、三好軍の敗北となりました。(53歳女性)	
9	『積川神社遥拝鳥居(小松里町)』 額町には白河上皇・後鳥羽院遥拝地跡があり、白河上皇が熊野御幸の際舞楽を奏された時、鳥居の額の字が拙いを見、自ら筆をとり「正一位積川神社」と書かれたという扁額が掲げられています。このことから、周辺一帯を現在も「額」と呼んでおり、額町だんじりの柵合に白河上皇積川神社遥拝の彫物が彫られています。(53歳女性)	
10	『新しい出会いの場』 ここにはいつも可愛そうなかawaii猫ちゃんが居てます。私がこの猫ちゃんたちと風景に出会ったきっかけは友達の勧めです。 お勧めしてもらった以来、放課後に友達と毎日一緒に見に行ってます笑私の大好きな場所です。 この場所は猫ちゃんたち、綺麗なお花に集まる蜂、餌を運ぶアリ、ベンチでお話する人々など沢山の出会いと発見があります。 何年経っても、この風景はなくなってほしくないです。(17歳女性)	
11	『雨降りの滝(意賀美神社)』 9世紀の大干ばつの際、陽成天皇の命で菅原道真が雨乞い神事にあたり、この水を神前に供え、雨を降らせたことから「水の神」としての信仰を集めたこの場所は、周辺の自然なままの植生が残る意賀美神社の社叢とともに、こころに潤いを与えてくれる景観スポットとなっています。 ここへ来ると、春、秋のハイキング日和の日この場所を訪れ、心地よい鳥の鳴き声やそよ風に迎えられた思い出や、夏真っ盛りの猛暑の日ここで涼ませてもらったことが思い出されます。(59歳男性)	
12	『岸城神社』 今年の元旦に岸和田高校横にある岸城神社に初詣へ行きました。まだまだコロナは治まりませんが、露店も出店していました。春には、この奥に植樹されているしだれ桜を見るのがとても楽しみにしています。(50歳男性)	